

本間鋼業

本間鋼業（本社・東京都墨田区、社長・本間一径氏）は浦安加工センター（浦安鉄鋼団地内）の暑熱対策として、大空間用天井ファンと空間冷却システムを組み合わせたデモ機を導入している。西田技巧（本社・岐阜県美濃加茂市、社長・西田裕幸氏）の大空間用天井ファン「THE FIRST FAN」と、総合防災設備で国内最大手の能美防災（社長・岡村武士氏）の「ドライミスト」を組み合わせた「ドライミストファン」のデモ機で順調に稼働している。

暑熱対策に「ドライミストファン」活用

設置しやすく、電力消費量が少なく安全性も高いほか、メサをもたらし、水滴落下も起らないテナンス性にも優れる。本

が今後の選択肢の一つとなり、それが今後のインスタグラムでも紹介している。また現場の機械すべてに「名称」「使用開始年」を明示し、その精神を根付かせる工夫が随所に見られる。

現場の5S活動に力

「ドライミスト」は水の蒸発を利用して周辺の気温を低くするシステムで、噴霧エリアの気温を2〜3度下げ効果が大きい。蒸散しやすい霧で、濡れた感覚

本間鋼業は現場での5S活動に力を入れる。築40年近い建屋だが床には毎年ペンキを塗り直し、ごみ拾いなどを徹底している。

「ドライミスト」は水の蒸発を利用して周辺の気温を低くするシステムで、噴霧エリアの気温を2〜3度下げ効果が大きい。蒸散しやすい霧で、濡れた感覚

「昔から『自分たちで作る』という文化があり、定着している。上からの指示ではなく、現場の自主的な行動（本間超常務取締役）といい、今後も現場の意識向上に注力する。



天井ファンとドライミストを組み合わせた「ドライミストファン」(上)、事務所から不要になったロッカーを移設、色を塗り替えロゴをつけた



本間鋼業のインスタグラムアカウント

